

若者の自動車離れは合理的

ChatGPT:

はい、「若者の自動車離れ」は非常に合理的な行動といえます。
感情や嗜好の問題ではなく、経済的・社会的な構造に基づく合理的な選択です。

■ 自動車所有が若者にとって非合理的理由

1. コストが高すぎる

- 車両代、税金（自動車税・重量税）、保険、車検、駐車場代、燃料代
- 都市部では駐車場代だけで月数万円 → 年間数十万円に

→ 収入が減っている中、固定費としては重すぎる

2. 稼働率が低い

- 平日は学校・仕事で使わない、休日も移動は公共交通で十分
- 月数回の利用のために 100 万～300 万円の買い物は非効率

→ 使わないのに維持費がかかる「負債」になってしまう

3. 都市部では不要

- 鉄道・バス・シェアサイクル・タクシーが整備されている
- 渋滞・駐車・一方通行などのストレスも多い

→ 使い勝手が悪い上にコストが高い＝選ばれにくい

4. カーシェア・配車アプリの台頭

- 必要なときに借りるだけで済む（タイムズカー、Anyca、Uber など）
- 月額なし・スマホで完結・24 時間使える

→ 「所有」から「利用」へ移行する方が合理的

5. ライフスタイルや価値観の変化

- 車＝ステータスの時代は終わり、今は「ミニマル・SDGs・自由時間」
- 旅行や趣味、IT デバイスなどにお金と時間を使いたい

→ 車にこだわらない方が、人生の選択肢が広がる

■ まとめ:若者の自動車離れは「賢い判断」

「持つメリット」より「持たないメリット」が明らかに多い現在、
自動車を持たない選択は極めて合理的で、未来志向の行動です。